

悲しき

コーク・ハバート/ロッド・スタイガー/オースティン・ペンドルトン/ベス・ティグソン/ラニー・フラハティ

酒場の

監督:サイモン・カロウ/脚本:マイケル・ハースト/製作:イスマイル・マーチャント/原作:カーソン・マッカーラーズ「悲しき酒場の唄」白水社刊

バラード

戯曲:エドワード・オールビー/撮影:ウォルター・ラサリー/音楽:リチャード・ロビンズ/1991年/イギリス映画/マーチャント・アイヴォリー・プロダクション/配給:ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画



ヴァネッサ・レッドグレイヴ
キース・キャラダイン

THE BALLAD
OF THE
SAD CAFE

アメリカ南部文学の最高峰
カーソン・マッカーラーズのグロテスクでバイオレントな世界

滑稽で、残酷で、悲しい人間たち。

アメリカ南部の埃っぽい工場を舞台に、
 渴いた人間模様を描いたこの作品は、W・フォークナー、
 T・カポーティらと並ぶ南部文学作家カーソン・マッカーズ原作の
 映画化である。

アメリカ南部特有の閉鎖的な世界の中で、
 歪められた人間たちの心の闇の奥底を描いたこの「奇妙なお伽話」は、
 <アメリカ人が書いた最良の小説の一つ>として
 高い評価を得ている。



滑稽で、残酷で、
 悲しい人間たちの物語。

大恐慌時代のアメリカ南部の小さな町に、
 一軒の酒場があった。貧しく疲弊きつた人
 人の心をいやすこの店は、大柄で男勝りで傲
 漫なミス・アメリカが経営していた。彼女は
 かつてならず者のマーヴィン・メイシーに求
 愛され結婚しながらも、彼を手荒く扱って町
 から追い出したことで悪評高かった。ある日
 アメリカのもとに彼女の遠縁だと主張する小
 男ライマンが訪ねてくる。よそ者に冷たい町
 の人々の予想に反し、アメリカはライマンに
 盲目的な愛情を注ぐ。二人は酒場を改装し美
 味しい料理と音楽に満ちた明るい町の社交場
 に変える。そんなある日、刑務所に入ってい
 たというマーヴィンがアメリカへの復讐を果
 たすために帰って来た。このならず者は傍若
 無人なふるまいでアメリカに対するが、逆に
 ライマンはこの男に近づいていく。そして遂
 に悲劇的なカップルの宿命の対決の日がやっ
 て来た……。

捧げるだけの愛は、
 あまりに悲しい。

『悲しき酒場のバラード』は、「孤独」とい
 う鎖につながれた「愛の囚人」たちの物語で
 ある。ならず者のマーヴィンは大女ミス・ア
 メリアに、ミス・アメリカは小男ライマンに、
 ライマンはマーヴィンに、それぞれ愛を捧げ
 ながらも、相手にすぎなくされ裏切られる。い
 たちごっこのような、奇妙な三角関係は三人
 の不均衡な容姿と相まって、悲しくも可笑し
 い魅力を携えている。

同じ「夢と自由」の国アメリカでも、ハリ
 ウッド映画に代表されるようなリッチで開放
 的なイメージとは正反対の、もうひとつのア
 メリカの顔がここでは描かれている。そうし
 た南部（ディープ・サウス）の世界は、チャ
 ールズ・ロートンの『狩人の夜』やジョン・
 フォードの『タバコ・ロード』等と相通じる
 一種のおどろおどろしさがある。

「奇怪」「異形」「神秘」といったキーワ
 ードで語られる『悲しき酒場のバラード』のグ
 ロテスクさこそ、もうひとつのアメリカの素顔
 なのである。

キース・キャラダイン、
 ヴァネッサ・レッドグレイヴの名演。

人間の不条理な業をむき出しにしたアメリ
 アとマーヴィンを演じるのは、ヴァネッサ・
 レッドグレイヴとキース・キャラダイン。い
 ままでのキャリアの中でも異質といえるアメリ
 ア役は、レッドグレイヴに新たな境地を拓
 いたといえる。シンガーソングライターとして
 も有名なキャラダインは、映画の中でスライド・
 ギターを弾いて渋いブルースを聴かせるシー
 ンもあり、見どころのひとつとなっている。

ほかに、小男ライマン役に『レジェンド』
 のコーク・ハバート、町の牧師役で『夜の大
 捜査線』の名優ロッド・スタイガーらが光る
 演技を見せている。

監督はマーチャント・アイヴォリー・プロ
 秘蔵の新人サイモン・カロウ。舞台演出も手が
 けるが、有名なのは俳優としての仕事で、『眺
 めのいい部屋』や『モーリス』などで名脇
 役者でもある。

脚本は『ミーティング・ビーナス』のマイ
 ケル・ハースト、撮影は『熱砂の日』のウォ
 ルター・ラサリー、音楽は『モーリス』のリチャ
 ード・ロビンズ、製作は『ハワーズ・エンド』で
 創立30周年を迎えるマーチャント・アイヴォ
 リー・プロダクション(MIP)である。

(上映時間/1時間41分)



悲しき 酒場の バラード



ヴァネッサ・レッドグレイヴ
 キース・キャラダイン
 THE BALLAD OF THE SAD CAFE

監督: サイモン・カロウ

原作: カーソン・マッカーズ『悲しき酒場の唄』白水社刊
 1991年/イギリス映画 / DOLBY STEREO
 配給: ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画

5月中旬よりロードショー!

特別鑑賞券1300円好評発売中(当日:一般1600円・学生1300円(税込))

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、
 チケットぴあ、セゾン系各劇場にてお求め下さい。

連日 12:15 2:30 4:45 7:00

CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅下車1番出口WAVE地下1階
 自由席定員制・入替制 ●お問い合わせ ☎03(3403)6061